

山田としお 国政報告



創刊号 [平成19年11月発行]

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目8番3号
TEL 03-5203-0620 FAX 03-5203-0635



思い新たに 全力で取り組みます

選挙中に全都道府県を走り回り、JAをはじめ推薦をいただいた関係団体・組織のほとんどを訪問させていただきました。心強い激励はもちろん、厳しいご意見もお聞きし、ありがたく受けとめています。

激励に感謝します

たくさんの方にお会いする中で、皆さまが将来に対して大きな不安を抱いておられることをより強く感じました。農山村に渦巻く危機感を克服するために、「山田、が

んばれ」という激励をいただいたと思っております。私の使命はこうした地方の危機感に歯止めをかけることだと、思いを新たにしております。

国会への初登院にあたって、私は選挙戦で着ていた緑の服装で登院しました。農山村の緑いっぱい、の美しさを守る決意と、支えてくださった全国の皆さまと一緒に登院したいという願いを全身で表したかったからです。

委員会の所属は農林水産委員会

引き続きご支援を

今、国会は混迷する政局の真っただ中にありますが、米価下落、品目横断的経営安定対策の見直しなど、農業政策は緊急課題が山積しています。皆様の御支援にお応えすべく、全力で取り組んでまいります。今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



山田としおの 真剣勝負

ようやく国政報告創刊号を出すことができました。この欄は、参議院議員山田としおが、皆さんの励ましに、どう応えることができているのか、「真剣勝負」の姿勢を見ていただくためのものにしていただいています。

また、私に対するご意見等ありましたら、ホームページの「ご意見・ご声援」欄を活用してお寄せいただければ幸いです。

国会での議論に期待

参院議員になって

当選してすぐに安倍前首相の辞任など、大変な政局を経験させていただきました。自民党の水田農業振興議員連盟の事務局次長や全国たばこ耕作者政治連盟の幹事長を仰せつかったり、農地政策検討スタディチームのメンバーに選ばれたり、チャンスをいただいていることに感謝しています。これも皆さまの圧倒的なご支援のおかげです。このほかにも農村の高齢者福祉や医療の問題、過疎集落など地方の活性化対策、地方自治体の財政問題

など、取り組まなければならない課題がたくさんあります。民主党が提出した「農業者戸別所得補償法案」についても、早く国会で議論すべくワクワクした気持ちです。

国民の「いのち」をはぐくむ「食」と「農」と「緑」、それを支える「地域」の活性化を図るために、新しく誕生した福田内閣が、市場原理主義のみによる経済運営を改め、格差の是正を進める政策の推進に、私も全力を挙げます。

努力 報われる政策を

米価対策

不作にもかかわらず、米価が下がり続けています。水田農業地帯の皆さまの危機感は大変なものがあると思います。このままでは、ますます農地が荒廃し、担い手は育たず、まちやむらも活性化しません。なんとしても、この傾向に歯止めをかけなければなりません。

そのため、まず、需要減や過剰作付けで出回っている数量について、国が備蓄米として買い増しを行うことが必要です。

そのうえで、米に代わり作付ける麦や大豆

に加えて、飼料米やバイオエタノール向けの米作りを定着させる仕組みをきちんと作る、米価の低落を補てんする経営安定の仕組みを充実する、個別担い手農家の育成に加えて、高齢者も小規模農家も参加した集落営農作りをさらに推進する対策が必要です。

そして、きちんと生産調整をした生産者の努力が報われる仕組みにしていく必要があります。私は、これらの課題に全力で取り組みます。

抜本の見直しへ全力

品目横断的経営安定対策

経営面積で対象が絞り込まれていることに対する不満が根強くあります。私はこれまでも地域の実態に応じた多様な担い手を育成しなければならないと主張してきましたが、残念ながらそうになっていませんでした。

地域によって条件が異なるのに、なぜ全国一律の面積規模の適用になってしまっているのか、なぜ特例措置が生かされなかったのか、なぜ野菜やソバが対象にならないのか、なぜ

麦や大豆への交付金が前年実績を下回るようになってきているのか、なぜ経営の安定を図る所得基準も米価の下落に連動して下がるのか、多くの問題指摘があります。

地域の多様な担い手を対象にできるようにすること、対象作物を広げること、事務手続きを簡素化することなど、地域の実態に合った制度にするため、抜本的な見直しに取り組みます。